

	横浜市立大曾根小学校 <h1>学校だより</h1> 	平成30年10月31日 TEL 542-1785 FAX 541-0949
---	---	---

精一杯の力を発揮した運動会

学校長 三橋 淳子

富士山の冠雪や朝夕の空気の冷たさに季節の移り変わりを感じます。10月20日開催の平成30年度運動会につきまして、保護者の皆様、そして地域の皆様には、ご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。増改築工事の資材や鉄板の残る校庭での実施となった今年度の運動会、ご心配並びにご不便をおかけいたしました。

工事関係の方と相談を重ね、職員が知恵を出し合い、当日の会場設営並びに運営を進めましたが、特に会場へのご不安の声は、開催前よりいくつも頂いておりました。しかしながら、当日はPTA本部の皆様を中心にお声かけ頂きました保護者観覧席におけるゆずりあいと概ね実現し、それぞれの演技や競技が終わるごとに「どうぞ」の声とともに場所をご移動いただいたこと、狭い通路もゆずりあってご通行いただいたこと、どちらもとてもありがたかったです。徒競走は例年6コースまで設定するところを4コースとし、子ども達の移動は第一校舎の1階廊下を使用するなど、考え得る限りの工夫はいたしました。それでも、狭い、見えない、というご不満をもたれた方は少なくなかったと思います。申し訳ありませんでした。来年度はこれまでより広い校庭での運動会になる予定ですが、保護者の皆様から頂戴いたしましたアンケートが集まり次第、職員間で共有し、来年度につなげていきたいと思っております。

今回の運動会は、ケガなく安全に進行することはもちろんですが、制約の多い状況でも子ども達が目を輝かせて参加できること、これが学校として大切な目標でした。低学年のお子さんの感想です。「全部の競技で練習より本番の方が上手にできていて、家でもほめられたし、うまくできたと思いました。」「何回も練習してよかったと思いました。」「徒競走で腕を振ること、ダンスで腕を伸ばすこと、玉入れでは拾ったらすぐ投げることを頑張りました。」そして、6年生にとっては小学校生活最後の運動会、「友達と心をつなげることは大切なんだと思った。その力でより強くなれた気がした。応援したりされたりすると、より力を発揮できることを知った。」「今年の運動会は協力して、自分たちで考えて行動することができた。一つ一つのことによって一生懸命取り組んだ運動会だったと思う。」「自分たちが練習してきたことが見ている人に伝わったと思う。」「ソーラン節をみんなで息を合わせて踊ることができ、最後に大きな拍手をもらって嬉しかった。達成感が得られた。」6年生の大部分の子ども達が感想に「楽しかった。」と書いているのを嬉しく読みましたが、前日までの練習や準備、そして当日も、1年生から6年生まで、どのお子さんも精一杯の力を発揮することができたと思います。一日中声を出し続けた応援団、それに応えて全学年のお子さんが大きな声で応援する姿。大曾根小の子ども達のよさやがんばる姿を、たくさんの方々の場面で見ることのできた一日でした。

11月も様々な行事が予定されています。職員一同、引き続き、ていねいに一つ一つの教育活動を進めて参ります。ご理解とご協力をいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

※平成28、29年度の2年続けてベルリンフィルハーモニックピアノトリオをお招きしましたが、今年度は1月16日(水)にピアニスト、梯剛之(かけはし たけし)さんのコンサート(音楽鑑賞会:3～6年児童、全学年保護者・地域の皆様)を予定しています。詳しくはあらためてご連絡させていただきます。

《学校カウンセラーより》

今年度も半分が過ぎたところですが、お子さんのことで気になることやお困りのことはございませんか。もし、ございましたら、まずはゆっくりとお話をさせて頂きたいと思っております。家事・育児・お仕事の間にはっと一息つけるような時間にできたらと思っております。また、保護者の方だけでなく、お子様からのご相談もお受けしております。

○相談例(1回50分程度)

- ・登校をしぶる
- ・気になる行動がある
- ・発達に関すること
- ・親子の関係について
- ・友人関係について
- ・学習について など